

[3] 次の文を読んで、下の(1)～(7)の問いに答えなさい。

1947年に締結されたGATTは、①自由・無差別・多角の貿易原則に立ち、多国間貿易交渉などを通じて、自由貿易の拡大に貢献してきた。1967年に成立した②ケネディ=ラウンド、1979年に成立した(a)=ラウンドでは、関税の引き下げなどが話し合われた。1986年から開始されたウルグアイ=ラウンドでは、従来の交渉に加えて、農産物の例外なき関税化やサービス貿易、特許権や商標権などの(b)の保護について交渉が行われた。1993年にはウルグアイ=ラウンドの農産物関税化の合意により、我が国は③米の輸入制限の一部撤廃に踏み切った。この結果、④安価な農産物の大量輸入が進み、我が国の農業に大きな影響を与えた。

1995年には、ウルグアイ=ラウンドで合意された内容を実施するための機関としてWTOが発足した。WTOは、さらなる貿易の自由化と、貿易全般に関する国際ルールの整備や⑤加盟国間でおこる貿易上の紛争を処理する機能をもつ機関として、現代の自由貿易体制を支えているが、合意形成に時間がかかるなど、課題も抱えている。そのため、加盟国の中には、経済的に結びつきの深い国と⑥FTAやEPAを締結する動きも見られる。

- (1) 文中(a)、(b)に当てはまる語句を書け。
- (2) 下線部分①の具体的内容の一つとして、GATT締約国に与えられた最恵国待遇について、説明せよ。
- (3) 下線部分②について、このラウンドとそれ以前の交渉の違いについて、ラウンドの成果を含めて説明せよ。
- (4) 下線部分③について、我が国はどのような対応をとったか、説明せよ。
- (5) 下線部分④に関して、2001年、中国からの一部農産品の輸入に対して我が国が発動した措置を何というか、書け。
- (6) 下線部分⑤で、紛争処理手続きにおいて強化された機能はどのようなものか、説明せよ。
- (7) 下線部分⑥について、説明せよ。

[4] 次のI～IVの文は、思想家の著作の一部である。各文を読んで、下の(1)～(5)の問いに答えなさい。

I 「人間の(a)と力とはひとつに合一する、原因を知らなくては結果を生ぜしめないから。というのは、①自然とは、これに従うことによらなくては征服されないからである。」

II 「実際に重力のこれらの特性を現象から導くことは、わたしにはできませんでした。けれどもわたたくしは(b)を立てません。といいますのは、現象から導き出せないものはどんなものであろうと(b)と呼ばれるべきものだからです。そして(b)は、②それが形而上学的なものであろうと形而下的なものであろうと、また隠在的なものであろうと力学的なものであろうと、「実験哲学」にはその場所をもたないものだからです。」

III 「表象を受け取る感受性を、(c)と呼ぶとすれば、これに対して、表象そのものを生み出す能力、すなわち認識の自発性は(d)である。・・・(c)なしにはわれわれはいかなる対象も与えられず、(d)なしにはいかなる対象も思惟されないであろう。内容なき思惟は空虚であり、概念なき直感は盲目である。」

IV 「ここで(e)革命という時、それはただ累積的に発展するのではなくて、古い③パラダイムがそれと両立しない新しいものによって、完全に、あるいは部分的に置き換えられる、という現象である。」

- (1) (a)～(e)に当てはまる語句を書け。
- (2) 上のI～IVの著者はそれぞれ誰か、その名前を書け。
- (3) 下線部分①について、この主張を古代ギリシャのテオーリアの精神と対比して説明せよ。
- (4) 下線部分②について、アリストテレスの自然観と比較して説明せよ。
- (5) 下線部分③について、著者はどのような意味で使用しているか、説明せよ。